

さあ冬本番。販売店様と連携し、ガス切れ防止に努めます。

12月も半ばとなり山手では降雪がみられるようになりました。最高気温1ケタの日が続いており、最低気温が氷点下となるのも時間の問題です。早朝に出発する配送マンにとって、霜が降りたり凍結している路面の走行や、薄暗い中での容器交換作業に油断は禁物。十分に注意して事故や作業ミスの防止を図っています。

さて、その昔、ガスの配送は、配送マンの「勘」に頼る部分が大きく、そのためガス切れでお客様にご迷惑をおかけすることも。その後コンピューターの導入により、お客様宅の消費量のデータなど様々な情報を駆使して配送予測ができるようになったので、ガス切れは随分減りました。それでも、お客様宅の急な消費量の変化、ガス器具やご家族が増えたことによる消費量の増加などは、わが社にその情報が届かないと、いくらコンピューターでも配送予測に反映できません。ですから、今でも、残念ながらガス切れをおこして

右:シリンダー配送車



左:バルク配送車

しまうことがあります。わが社ではこの「残念なガス切れ」を防ぐため、日頃より、お客様の家族人員の変化やガス器具の入れ替え、増設による消費量の増大について、販売店様との情報共有を図っており、この冬も、使いたい時に快適にガスを使って頂けるよう連携に努めています。

社員の和の力を発揮し、我々はお客様に笑顔をお届けします。